



いという願いなのか、必ず人それぞれの願いがあると思いますので、是非亡くなられたお父さんやお母さんはどんな願いがあったのだろうか、その願いを私たち生きる一人一人でありたいと思つております。

今日は三重県岐阜県、愛知県から、多くのご家族の皆さんにお越しになつております。残念ながら愛知県は交通事故死亡が二百人を超えて十三年間ワーストワンという記録を、更新を残念ながらしております。特に新聞やテレビでもよく報道されています。「ポケモンGO」をしながら「ながら運転」で、小学校のお子さんがその車に撥ねられるというそういうような事故も起きました。そもそも横断歩道で渡りたいという歩行者がいたとしても横断歩道は止まらなければいけないれば必ず運転する側は止まらなければいけないというルールがあります。

ある団体がアンケート調査をしましたら、横断歩道で止まらない車が九割以上あるという結果がありました。ですから私どもの地元ですが、ハンドアップ運動と言いまして、必ず横断歩道で、手を挙げて渡ること、そして渡りたい人がいたら必ず止まるという、本当に当たり前の運動ですけれども展開をいたしております。これを愛知県、全国にも一度広めていきたいと本当に思います。

交通事故は起こらないのではないかと思ひます。交通事故で亡くなつてはならない。私たち一人一人、命を大事にしながら、そしてまた家族を大事にしながらこれからも力強く生きていまいといふ想ひであります。そして何よりも、この「東海交通遺児を励ます会」で知り合った家族の皆さんやお友達の皆さんには、本当に同じ経験をしたかけがいのないお友達であると思ひます。家族の皆さんでいるからこそ、その交流も深めたいだきながらこれからもこの会をまた違つた意味で、盛り上げていただければと思つております。

本当に多くの皆さんに励まされて今があるとう事に感謝を申し上げながら、私からの励ましのご挨拶に替えさせていただきたいと思います。今日は遠方からも、皆さん本当にどうもありがとうございます。これからも頑張っていきましょう。

ありがとうございました。

ましのメッセージを送りたいと思ひます。

今日の、五十回の記念大会までに歴代会長さん、役員そして事務局の皆さんOB・OGの皆さんはじめ、本当に多くのボランティアの方々によつてこの会が支えられ、本当にやさしい気持ちで運

當されてきたと思つています。

私は、もう十数年前からこの会に大会に参加させていただいておりますが、思い出しますのは「パパをかえして」というあの作文のときは本当に会場の皆さんと泣いてしまいました。そして、今は三重県岐阜県、愛知県から、多くのご家族の皆さんにお越しになつております。残念ながら愛知県は交通事故死亡が二百人を超えて十三年間ワーストワンという記録を、更新を残念ながらしております。特に新聞やテレビでもよく報道されています。「ポケモンGO」をしながら「ながら運転」で、小学校のお子さんがその車に撥ねられるというそういうような事故も起きました。そもそも横断歩道で渡りたいという歩行者がいたとしても横断歩道は止まらなければいけないれば必ず運転する側は止まらなければいけないというルールがあります。

ある団体がアンケート調査をしましたら、横断歩道で止まらない車が九割以上あるという結果がありました。ですから私どもの地元ですが、ハンドアップ運動と言いまして、必ず横断歩道で、手を挙げて渡ること、そして渡りたい人がいたら必ず止まるという、本当に当たり前の運動ですけれども展開をいたしております。これを愛知県、全国にも一度広めていきたいと本当に思います。

交通事故は起こらないのではないかと思ひます。道路の白線を引いたり、道路標識を付けたり、それが本当に楽しかった。というお話を聞いて、ああ、本当に寄附させてもらつてよかったですなと思

います。日も一皆さんの作文を聞かせていただきまして、本当に心から感動をいたしました。私どもの寄附をお陰でカヌーへ行つたり、バス旅行へ行つたり、それが本当に楽しめました。というお話を聞いて、ああ、本当に寄附させてもらつてよかったですなと思います。私たちの協会の事を少しお話させていただきまして、道路の白線を引いたり、道路標識を付けたり、そして歩行者を車から守るガードレールを取り付けてたり、また交差点で衝突事故がないようにカーブを取り付けたりして寄附をするというボランティア活動をしています。通学路の登校中の列に車で走る車が突っ込むという事故が、今年もたくさん起つてあります。グリーンベルトやガードレールがありますと子ども達を守ることができます。そしてこのボランティア活動の効果が認められます。そして、今では皆さんの小学校通学路にもグリーンベルト、緑の線が引かれまして、安全に通学できるようになつてきました。私たちの

力がこうして「安心・安全」な社会を造つてきました。

設置を行つております。そして十年ほど前から私どもの協会で、「交通事故から子どもを守つるプロジェクト」という活動を推進してきました。

これは、通学路に緑の線を引いたり、ガードレ

ベルを取り付けたりして寄附をするというボラン

ティア活動があります。通学路の登校中の列に車

が突っ込むという事故が、今年もたくさん起つてあります。グリーンベルトやガードレールがあ

りますと子ども達を守ることができます。私たちの

力がこうして「安心・安全」な社会を造つてきました。

個所を指摘したりすれば交通事故はゼロになる

と思います。私たちは今後もボランティア活動を進めながら交通事故が起きない道路造り、町造り

を提案してゆきたいと思ひますし、また、会に寄

附を行うことによって、少しでも皆様方のお力添えになればと思つております。

最後にみなさんの健やかな成長を心より祈念い

たしましてメッセージを終わらしたいと思ひます。

この後クリスマスパーティを楽しんでいただきたいと思ひます。

交通遺児のためなど 浄財を寄託

名古屋テレビ放送株式会社様から、12月22日(木)、名古屋市子ども青少年局様の立会いの下、吉野雅山会長へ多額のご寄附をいただきました。(昭和52年以來39回目)

この寄附金はさまざまなチャリティ行事、番組のなかで募金や多くの団体、個人からの寄付などを合わせたものです。

名古屋テレビ放送株式会社様の「交通遺児チャリティ」にご寄託いただきました(敬称略)

ご支援、ご寄附に心から感謝します

公益財団法人東海交通遺児を励ます会は、国や地方自治体に助成金を受けて、皆さまの温かいご支援、ご寄附で、愛知・岐阜・三重・東海三県下の交通遺児と保護者へ支援活動を行なっております。設立以来48年になります。皆様の変わらぬご支援、ご寄附に心から感謝いたします。これからも交通遺児と共に歩んでいきます。

中日新聞社会事業団様や名古屋テレビ放送株式会社様には、年間を通じ、いろいろご支援をいただいております。なお、中日新聞社会事業団様を通じて寄託いたしました場合

は、「東海交通遺児を励ます会」とご指定下さい。また、当会は平成24年7月に公益財団法人に認定され、寄附者の方は税制上の優遇措置を受けることができるようになります。平成28年9月(12月にご寄附・ご支援いただいた方々です)。〔敬称略・順不同〕

センコー株式会社

センコー・グループ役員従業員有志一同
中部日本ボーリルーム・ダムズ連盟「ロエシヨナル選手会」

愛知県車輛興業株式会社

江南市女性交通安全クラブ

愛知トヨタ自動車株式会社クラウン会

株式会社大黒屋佛壇店

MTB会

株式会社ユーネットラボンス役職会

株式会社ユーネットラボンス労働組合

株式会社広報企画

名古屋テレビ放送株式会社

大宝運輸株式会社

オーリルジャパンライン株式会社

松阪殿町幸交通少年団

東洋樹脂株式会社

サンシン運輸株式会社

名古屋個人タクシー協同組合

三菱自動車セーフティードライバーズクラブ

愛知日野自動車株式会社親和会

敷島製パン株式会社

大塚製薬株式会社

大池運送株式会社

社会福祉法人中日新聞社会事業団

愛知県中古自動車販売商工組合

寺内立身

藤原光広・美舟

福島厚子

小澤雄市

水谷易示

高橋重人

野口士葉

長岡博史

高橋廣史

弁護士岡田

上村祐司

坪井謙治

伊藤靖子

長岡隆徳

貴文

ていくことに少しは貢献できたかなと思つております。先程、交通事故はゼロにできる、というお話を聞きました。このように私たちがそれぞれの立場で、例えば交通ルールを守つていくことを呼びかけたり、交通事故が起きやすい場所を、危険な個所を指摘したりすれば交通事故はゼロになると思います。私たちは今後もボランティア活動を進めながら交通事故が起きない道路造り、町造りを提案してゆきたいと思ひますし、また、会に寄附を行うことによって、少しでも皆様方のお力添えになればと思つております。

最後にみなさんの健やかな成長を心より祈念い

たしましてメッセージを終わらしたいと思ひます。

この後クリスマスパーティを楽しんでいただきたいと思ひます。